

## 特別展「千石荘の自然Ⅲ」のまとめ

会場：貝塚市立自然遊学館多目的室

期間：2016年6月16日～8月31日

2012年11月から始めた千石荘樹木調査の結果を中心に、貝塚市千石荘周辺に生息する動植物を、写真や標本、パネルを使って紹介しました。その他、千石荘（および貝塚市全体）に生息する生物の種数、大阪府レッドリスト種や特定外来生物、千石荘の土地利用に関する提言や、約100年前の地図なども展示しました。

### 会場の様子とポスター



### 特別展「千石荘の自然 ③」

自然遊学館が行ってきた樹木調査や昆虫調査の結果を紹介します



期間：2016年6月16日（木）～8月31日（水）  
（土・日・水曜日 9:00～21:00 月・木・金曜日 9:00～17:00）  
場所：貝塚市立自然遊学館多目的室 **火曜日休館**

## 樹木調査（中間報告）

調査本数 395 本・・・2012年11月～2016年3月、胸高周150 cm以上が目安

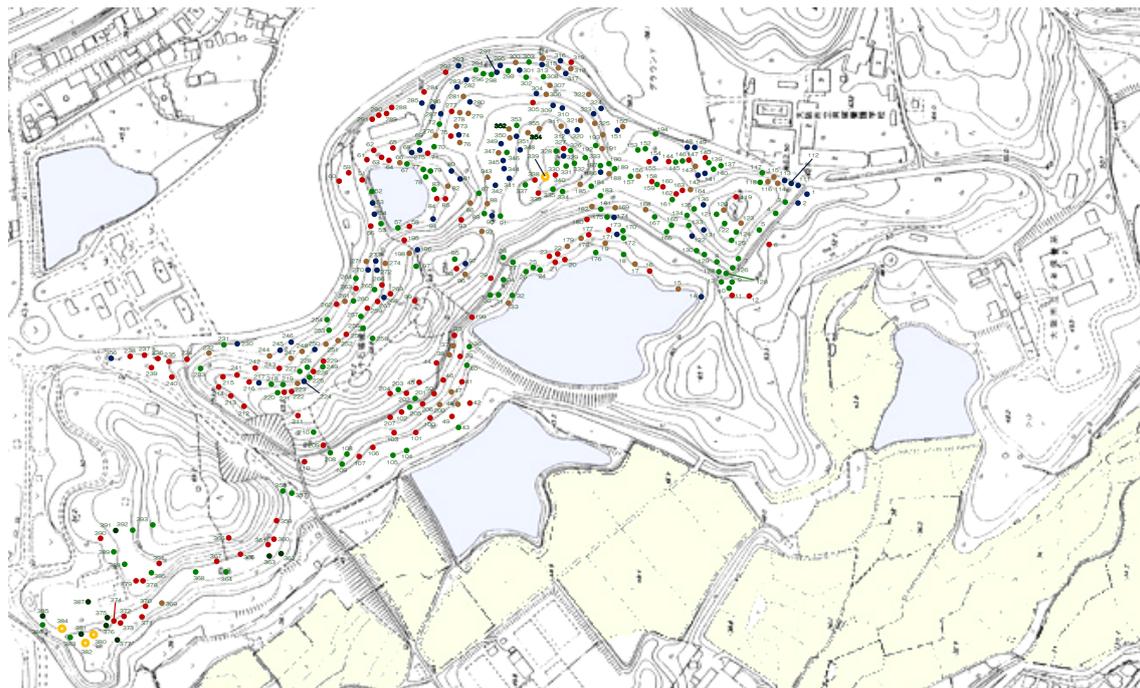
クスノキ 130 本、コナラ 101 本、ヤマモモ 67 本、ナナメノキ 33 本、クロバイ 12 本、  
クヌギ 9 本、アベマキ 7 本、エノキ 5 本、・・・など

樹木写真 291 本まで

樹木分布図 下図・・・395 本の調査樹木の位置を示しました。地図の左が北になります。

### 調査樹木の位置 No.1～395

2016年4月調査まで



● クスノキ ● コナラ・クヌギ・アベマキ ● ヤマモモ ● その他 ● 未確定

## 各グループの簡単な紹介

自然遊学館がこれまでに記録してきた生きものの各グループの種数も示しました。これからの調査でさらに数値が増える可能性があります。淡水貝に関しては、貝塚市全体のリストをまとめていません。

植物 384 種 大阪府レッドリスト 4 種、外来種 67 種： 貝塚市 1,133 種

キノコ 51 種： 貝塚市 232 種

昆虫 761 種、大阪府レッドリスト 23 種、外来種 23 種： 貝塚市 2,806 種

クモ 25 種、大阪府レッドリスト 1 種： 貝塚市 86 種

淡水貝 3 種、大阪府レッドリスト 1 種

陸産貝 23 種： 貝塚市 73 種

両生類 4種、大阪府レッドリスト1種、外来種1種： 貝塚市 11種  
爬虫類 10種、大阪府レッドリスト1種、外来種1種： 貝塚市 16種  
鳥類 62種、大阪府レッドリスト8種、外来種2種： 貝塚市 192種  
哺乳類 7種、大阪府レッドリスト2種、外来種1種、貝塚市 21種

その他の最近の話題 アナグマ、オグマサナエ、ナツノツヅレサセコオロギ、ミスジチョウ

## スライドショー

大型スクリーンに千石荘で撮影した昆虫の画像 60 枚を、20 秒ごとに入れ替わるようにスライドショーにして紹介しました。

## 樹木の枝葉

アオキ、ナナメノキ、ムクノキ、クヌギ、コナラ、アベマキ、アカメガシワ、エノキ、クスノキ、ヤマモモ

## 樹木写真モデル

2枚の同じ樹木写真と、種名を書いた底面で、立体風の展示物を作成  
手に取って底面の裏を見ると種名が分かるようにしました。

## 六角カード

六角形に画像を切り取り、裏面に種名を記入  
裏面を見ると種名が分かるようにしたものです。

## 生きものぬり絵

たくさんのぬり絵を描いて、パネルに貼ってもらいました



## データ

各グループの種数以外に、以下のデータを示しました。千石荘周辺で確認されている大阪府レッドリスト種は、2016年6月14日現在、41種になっています。

両生類・爬虫類・哺乳類リスト

外来生物リスト・・・特定外来生物、要注意外来生物

大阪府レッドリスト種

貝塚市千石荘で確認された大阪府レッドリスト種					
(大阪府レッドリスト2014改訂版に対応)			(貝塚市立自然遊学館作成：2016年6月14日)		
グループ	種名	ランク	グループ	種名	ランク
哺乳類	カヤネズミ	準絶滅危惧	昆虫類	コフキトンボ	準絶滅危惧
	アナグマ	準絶滅危惧		アキアカネ	準絶滅危惧
鳥類	クイナ	準絶滅危惧		ナツアカネ	準絶滅危惧
	ケリ	準絶滅危惧		ノシメトンボ	準絶滅危惧
	オオタカ	準絶滅危惧		ヒメアカネ	準絶滅危惧
	ノスリ	準絶滅危惧		マイコアカネ	準絶滅危惧
	ヒバリ	準絶滅危惧		ナツノツツレサセ	準絶滅危惧
	トラツグミ	準絶滅危惧		ヤスマツアメンボ	準絶滅危惧
	ホオアカ	準絶滅危惧		ヒメミスカマキリ	準絶滅危惧
	カシラダカ	準絶滅危惧		ドウガネブイブイ	準絶滅危惧
爬虫類	タカチホヘビ	準絶滅危惧		ミスジチョウ	準絶滅危惧
昆虫類	ネアカヨシヤンマ	絶滅危惧Ⅱ類		ホソバセセリ	準絶滅危惧
	オグマサナエ	絶滅危惧Ⅱ類		ウスアオリンガ	準絶滅危惧
	ナニワトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	クモ類	コガネグモ	準絶滅危惧
	ナキイナゴ	絶滅危惧Ⅱ類	淡水産貝類	ヌマガイ	絶滅危惧Ⅱ類
	キイトトンボ	準絶滅危惧	陸産貝類	ウスイロシタラガイ	絶滅危惧Ⅱ類
	ベニイトトンボ	準絶滅危惧	植物	アンペライ	絶滅危惧Ⅰ類
	セスジイトトンボ	準絶滅危惧		タヌキマメ	絶滅危惧Ⅰ類
	ウチワヤンマ	準絶滅危惧		ギンラン	絶滅危惧Ⅱ類
	マルタンヤンマ	準絶滅危惧		イヌタヌキモ	準絶滅危惧
	カトリヤンマ	準絶滅危惧			

- 絶滅危惧Ⅰ類 絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危機が増大している種
- 準絶滅危惧 存続基盤が脆弱な種

地図

土地利用に関する提言

「生物多様性の維持」と「身近な生きものにふれ合える場所」の両立を目指して  
1909年の地図（大日本帝国陸地測量部作製のもの）

アカマツが優占する入会地だった・・・南近義村および北近義村入会地